

# 平成23年度小松島市事務事業評価シート

## ■事業の位置づけ（基本事項）

整理番号				5 - 3 - 8					
事務事業名		きめ細かな交付金事業 (葬斎場整備PFI事業推進調査委託事業)				担当課係		生活環境課	
総合計画上の位置付け	大項目		6. 「街が輝く」				記入担当者		
	中項目		①快適に暮らせる生活基盤の整備				内線等		
	小項目		5. 生活関連施設の整備				E-mail		
事業の実施主体		市(委託・補助事業含む)				事業区分		臨時事業	
事業予算費目	款	4	衛生費		項	2	清掃費		
	目	94	環境対策総務費		事業	57	きめ細かな交付金事業		
開始年度		平成 22	年度	根拠法令・要綱等	民間資金等の活用による公共施設の整備等の促進に関する法律他				

## ■事務事業の概要（実施内容）

事業の対象	(誰の、何のために事業を実施するのか) 将来、小松島市及び周辺自治体の市民の利用の増大が見込まれる火葬場施設とその運営形態
事業の目的 (意図)	(事業実施によってどういう状態にしたいのか) PFI事業の手法により、新型火葬炉の導入、火葬場建物、周辺施設の整備、火葬場運営形態の改善を行い、市民の利便性、快適性、安心感の大幅な向上を図る。
事業の内容 (内容・手法等)	(どういった仕事の内容で、どのような手法・手順で実施しているか) 火葬場の建替え整備にあたり、PFI事業の手法を用いて、施設整備から完成後の管理運営まで一貫して設計、実施する。
事業の背景 (経緯等)	(事業開始の背景やこれまでの経緯) 本市の火葬場は、昭和46年に建設されて以来40年近くが経過し、施設全体が非常に老朽化していることから、今後、南海・東南海地震等の大地震に対する耐震化の必要性や高齢化社会の進展に伴う火葬需要の増大に対する施設の能力の問題から、そして、社会生活の中で人生最後の時を送るにふさわしい場所として、市民が火葬場に求めているものに市として応えていく為にも、出来るだけ早く建替え事業に着手する必要がある。

## ■事務事業の業績・推移（目標・実績）

成果指標	指標名		指標の説明					指標化できない成果
	PFI事業者選定作業		火葬場整備PFI事業の事業者選定に必要な各種資料等の準備、事業者選定、事業契約までの業務実績					
	単位		H22	H23	H24	H25	将来目標 (年度：平成)	
千円	目標			5,000	1,000			<ul style="list-style-type: none"> <li>事業者選定プロセスの最適化に関する調査を行い、本市に最適な選定基準を策定した。</li> <li>事業者公募に必要な各種書類の原案を作成した。</li> </ul>
	実績			4,000				
	達成度			80.0%				

  

活動実績・参考となる指標	指標名		単位	H22	H23	H24	H25	指標の説明
	実施方針等	計画		千円			2,050	
実績						2,050		
事業者公募資料等	計画		千円			1,950		事業提案説明書(公募資料)及び付属資料の原案作成等
	実績					1,950		
事業者選定委員会運営等	計画		千円			200	200	事業者選定委員会運営、資料作成、事業者公募質疑対応等
	実績					0		
事業契約等	計画		千円			800	800	事業契約書作成支援及び契約締結補助、その他
	実績					0		

## ■事務事業に係るコストの業績（目標・実績）

(単位：円)

全体コスト(円)		22年度決算	23年度決算	24年度決算	23年度予算	
関連事業費	A 直接事業費		4,000,000	0	5,000,000	
	財源内訳	国県支出金		2,677,000		
		地方債				
		利用者負担				
		一般財源		1,323,000		
B 人件費 ①×②		2,474,112	0			
職員平均人件費①		8,247,039				
従事した割合②人		0.3				
A + B			6,474,112	0		
単位コスト	活動指標の説明				備考	
	活動指標1 単位当たりコスト				人口 H22.4.1現在41,507人	
	市民一人あたりのコスト		157		H23.4.1現在41,204人	

■事業を取り巻く環境

国・県・他団体の動向や環境変化と今後の予測	(社会状況、法改正、規制緩和、周辺の状況等や今後の予測) 全国的にもPFI事業による火葬場の整備事例が増えてきており、また、PFI（民間資金による公共施設整備）のみならずPPP（官民協働による公共事業）の推進がなされていることから、今後このような事業形態が益々増えていくものと考えられる。
事業に対する住民の意見	(意識調査・議会質疑等、事業に対する期待・要望・苦情など) 長年にわたり、市民、市議会から火葬場の利便性の低下と改善の必要性が取り上げられており、地元田野町協議会に於いても、早急な建替えと地域周辺環境の更なる改善整備の要望がなされてきている。

■項目別評価・今後の課題

評価項目	評価結果（該当にチェック）	判断理由・評価コメント （具体的に記入すること）
必要性 （市民ニーズ）	○ ① 必要性が高い ② どちらかといえば必要性がある ③ 必要性が低い ④ 必要性がない	長年にわたる市民、地元の要望に心える為、平成22年度にPFI事業可能性調査を行い、一定の事業効果が得られる事が確認されたので、平成23年度以降できるだけ早い時期にPFI事業者の選定を行う為の準備に積極的に取り組む必要がある。
妥当性 （市で行わなければならないか）	○ ① 市が行わないといけない ② どちらかといえば市で実施 ③ 必然性が低い ④ 必然性がない	PFI事業者選定に向けた準備作業、選定作業である為、日本PFI・PPP協会の指導、助言等を受けながら市で執り行う必要がある。
効率性 （事業の手法は効率よいが、コスト削減の余地はないか）	○ ① 効率的である ② どちらかといえば効率的 ③ どちらかといえば非効率的 ④ 非効率的	日本PFI・PPP協会が行った事業者選定手順の最適化の提言を本市の火葬場整備PFI事業に当て嵌めるなど、PFI事業手続きに向けた委託業務作業を適切に行っている。
緊急性 （他事業に優先し、実施する必要があるか）	○ ① 緊急性が高い ② 比較的緊急性がある ③ 緊急性が低い ④ 緊急性はない	出来るだけ早い時期にPFI事業者を選定し、その後の都市計画事業決定等の手続きを進めて行かなければならない。
成果 （目的の達成状況）	○ ① 成果が上がっている ② どちらかといえば上がっている ③ どちらかといえば上がっていない ④ 成果は上がっていない	平成23年度は、火葬場敷地の拡張予定地の土地利用転換手法等の検討に時間を要し、事業者選定まで至らなかったが、平成24年度選定開始に向けた準備作業は完了する事が出来た。
今後の課題	平成24年度以降、事業者の選定、PFI事業契約、都市計画事業決定等を積極的に行い、出来るだけ早い時期に施設整備に取掛かれるよう進めて行く必要がある。	

■一次評価（評価点は目安とし、総合的な評価をすること）

2	事務事業の方向性	1 拡 充 す る	80 点 以上	1	判定による 評価点 93	判定に至った理由	平成23年度以降、出来るだけ早い時期にPFI事業者の選定を行いたいと考えて資料の準備等を行ってきた。財源(きめ細かな交付金事業)の関係で、平成23年度実績分4,000千円で業務を完了しているが、平成24年度新たな事業予算措置により引続き事業者選定を急ぐ必要がある。
		2 現状のまま継続する	60～79点				
		3 改善・効率化し継続	50～59点				
		4 見直しの上縮小する	40～49点				
		5 終期設定し終了	30～39点				
		6 休 止	20～29点				
		7 廃 止	19点以下				

■改善・効率化・見直しの方向性 ※一次評価の判定が3・4の時は、必ず記入すること。

【具体的な改善等取組内容（方向性・対象・手段等について記述）
--------------------------------

■二次評価（所管担当の一次評価を、総合評価し判定すること）

2	事務事業の方向性	1 拡 充 す る	判定説明	改築が急がれる火葬場をPFIの手法により整備しようとするものであり、事業者選定手続き等を早急に取りまとめ、提案事業者の決定、PFI事業契約、事業着手に向けて推進して行く必要がある。
		2 現状のまま継続する		
		3 改善・効率化し継続		
		4 見直しの上縮小する		
		5 終期設定し終了		
		6 休 止		
		7 廃 止		